

茨木高校野球部

OB会報

発行
大阪府立茨木高校
野球部OB会

野球部の思い出

窪田 利行
(高24回)



昭和47年に卒業した我々6名(壇辻・広瀬・益野・長尾・出口・筆者)を代表して寄稿します。本当に早いもので我々が茨高を卒業し30年が過ぎようとしています。あの頃のことにはまさに走馬灯の様に今でも度々思い出します。

今まで数多くのOBが述べられたことかもしれませんが人生で一番輝いていた時だったと思います。一般的に言えば大学受験を控えた高校生にはクラブ活動は息抜きであつたり体を鍛えるのが目的なのではないでしょうか。我々には大袈裟に言えば高校生活そのもので

した。寧ろ授業や野球部以外の友人とのcommunicationが良き思い出として野球を中心とした高校生活に花を添えていたと思います。

当時を振り返ると野球部の友人、後輩、先輩、練習、怪我、試合、OBやmanagerの方々のこと等、今でも懐かしい気持ちで一杯です。私は投手をやっていました。今でも打たれた球、打ち取った球を驚くほど数多く明確に覚えていますが、打たれた球についてはいまだに悔根の情を押さえることが出来ないものがあります。また打たれた球がその相手が後日プロ野球で有名になった選手の場合等は心の隅で良き思い出となつて今も残っています。皆さんの世代ではあまり有名ではないかも知れませんが同志社・中日で活躍した田尾選手には4打数4安打されすとい打者があるのだと当時は悔しさと驚きが混じった複雑な気持ちでしたが、その後田尾選手が中日で活躍する度に懐かしさをもつて思い出したものです。

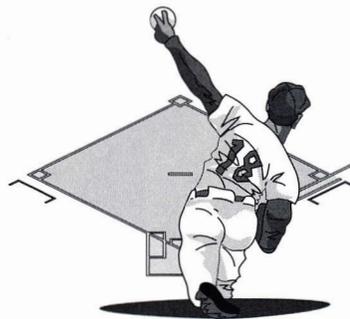
最近(40歳代になつてから)でこそ野球をやっている夢を漸く見なくなりましたが試合、練習、部活の後のドラドラした楽しい時

間のことよく夢に見ました。練習も日常の反復的なものより雨の日の校舎内でのサーキットトレーニングや、名前は忘れましたが近くの神社までマラソンしたこと、また練習の後校門を出たところにあつた小さな店で6人で飲んだジュースの味は格別でした。その様なことを振り返る度に茨高で野球をやつていた頃は「Eternal Moment」であつたとの認識を強くしています。

往時は残念ながら部員は少なくいつも10名強しかいなくて一人でも怪我をすると守備の変更が大変でした。複数が休むと練習試合をするのも危なっかしい陣容でしたが、それだけに全員のことをよく覚えています。3年生の夏の大会の直前にも私とバッテリーをくんでいた後輩の広野君が練習中に怪我をして守備の大幅変更を余儀なくされたのも今となっては良い思い出となりました。ただ当時は要の捕手が急遽出られなくなり心中は強い焦りを感じており、春からの仕上がり具合も良く練習試合でも好成績をあげ少なくとも公立高校には負けないだけの実力をつけていて大阪府の予選でも相当上まのアクシデントには大変悔しい思いをしました。結果も3-1で吹田高校に敗れ人前で始めて泣いたのを昨日の様に思い出します。

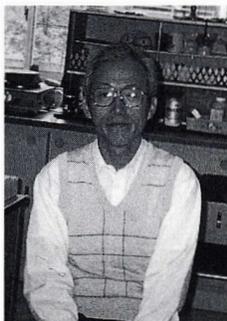
最後になりましたが上述の思い出に加え茨高・野球部生活で得た最も素晴らしいものはやはり生涯の友人だと思

ます。仕事の関係や住居地・家庭の事情等で何年も会わなくても茨高での体験と思いを共有している友人がいると言うことは本当に心強いものです。



部長より

顧問 中井 仁



球音たけなわの候、茨木高校硬式野球部OBの皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より物心両面において変わらぬご支援を賜り、まことに有り難うございます。

さて、今年は大西監督、高品コーチ体制の2年目になります。両氏は、近隣の強豪チームとの練習試合を組むなど、積極的なチーム強化を図つておられます。来る夏季大会にはそれらの成果が結果するものと、大いに期待するところであります。なお、顧問の方は、昨年に引き続き田中(数学)、福沢(社会)、後藤(美術)および中井(理科)の4名で当たります。

皆様ご承知のように、昨今の全国的な生徒減少のため、茨木高校の今年度の新入生は1クラス減つて8クラス320名となりました。その影響で、新入部員も8名とやや寂しい状況にあります。1年生諸君には、互いに支え合つて一人も欠けることなく、3年の夏まで一緒に続けていって欲しいものです。

従来(遺憾ながら)野球部員の間には、一浪が現役のような風潮がありました。しかし、ここ数年は一般生徒と同様、約半数の部員が現役合格を勝ち取っています。実際、ほとんどの部員が日頃の学習でも手を抜かず努力しているようです。今後も、「バットと鉛筆どちらも頑張る」をモットーに精進して頂けるものと思います。

OBの皆様には、そんな部員を今後とも暖かく見守っていただくようお願いいたします。